

中小企業景気動向調査レポート

(令和3年7月～9月実績、令和3年10月～12月予想)

(調査期間:令和3年9月1日～21日)

令和3年11月発行
西尾信用金庫
地域振興部

回答企業数

製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	合計
360	249	63	189	85	54	1,000

<全体の景況>

当期業況判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R3/6	-14.3	-16.3	-12.7	-10.4	-18.6	-3.6	-13.8
R3/9	-16.2	-13.4	-11.3	-6.4	-22.9	1.9	-12.9
R3/12予想	-11.5	-12.2	-6.6	-5.3	-19.5	3.9	-10.1

当期売上額判断D.I.

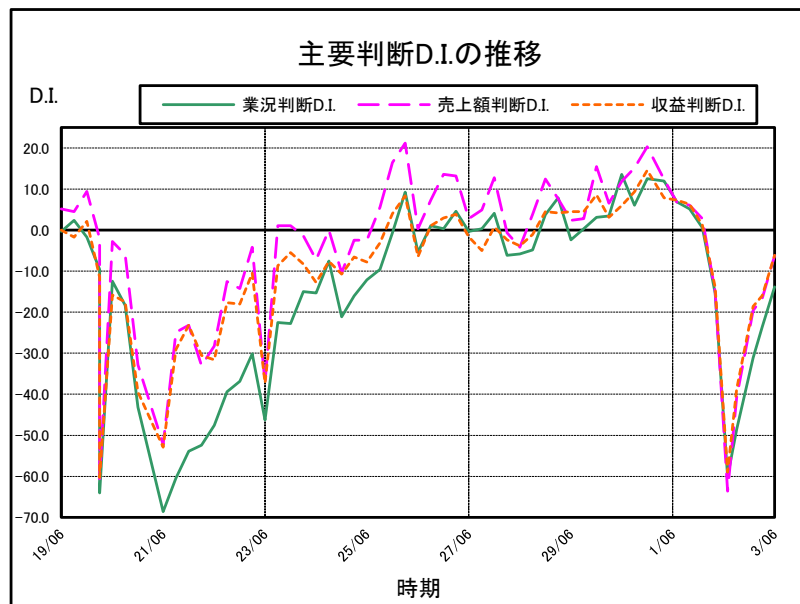
	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R3/6	0.6	-7.7	-11.1	-8.7	-23.3	-7.3	-6.3
R3/9	-11.6	0.9	4.8	-1.7	-16.9	-1.9	-6.3
R3/12予想	-11.3	3.5	-4.8	1.2	3.6	3.9	-3.4

当期収益判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
R3/6	0.8	-6.9	-6.3	-6.9	-27.9	-12.7	-6.1
R3/9	-13.8	2.6	6.5	-3.5	-14.3	-5.8	-7.2
R3/12予想	-10.0	4.3	-3.2	-0.6	2.4	0.0	-3.4

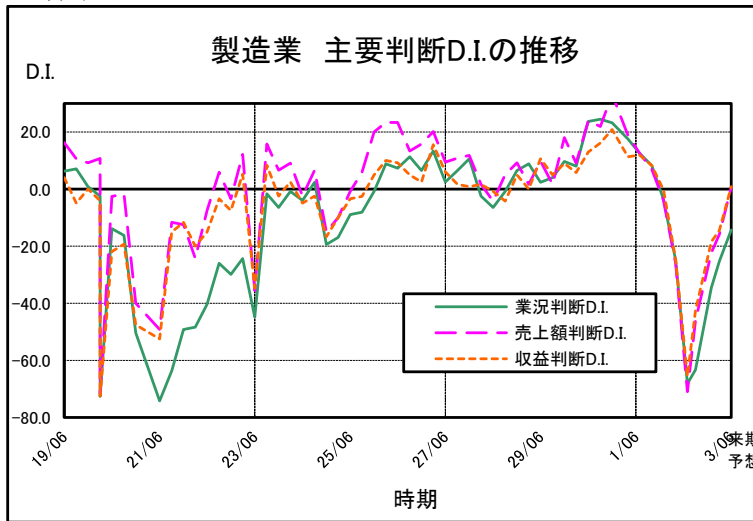
・令和3年9月期の当期業況判断D.I.は▲12.9(前期比+0.9)、当期売上額判断D.I.は▲6.3(±0)、当期収益判断D.I.は▲7.2(同-1.1)となった。

・来期については、業況判断D.I.は▲10.1(当期比+2.8)、売上額判断D.I.は▲3.4(同+2.9)、収益判断D.I.は▲3.4(同+3.8)といずれも当期より改善する見通し。



*判断D.I.は各質問事項で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業構成比を引いて求めている。

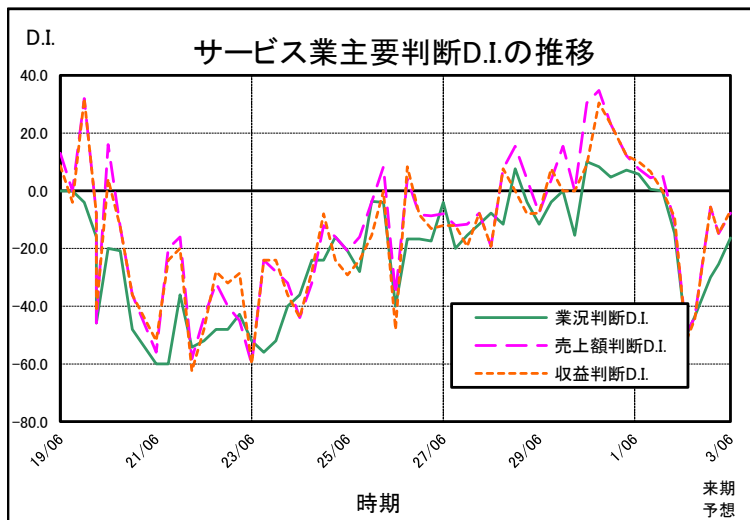
< 業種別 >



製造業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R3/6	-14.3	0.6	0.8
R3/9	-16.2	-11.6	-13.8
R3/12予想	-11.5	-11.3	-10.0

< 製造業 >

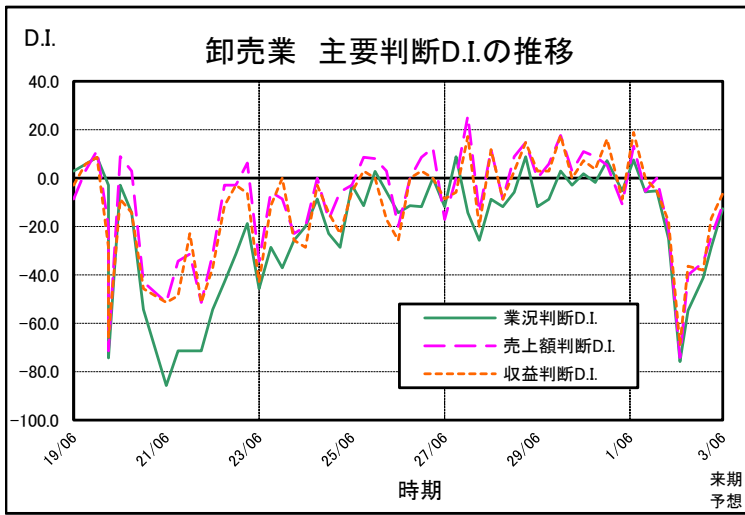
- ・当期業況判断D.I.は▲16.2(前期比-1.9)、当期売上額判断D.I.は▲11.6(同-12.2)、当期収益判断D.I.は▲13.8(同-14.6)となった。
- ・来期予想は、業況判断D.I. は▲11.5(当期比+4.7)、売上額判断D.I. は▲11.3(同+0.3)、収益判断D.I. は▲10.0(同+3.8)と、いずれも当期より改善する見通し。
- ・当面の重点経営施策として“経費を節減する”と“販路を広げる”を挙げる企業が54.4%、そして“機械化を推進する”を挙げる企業が13.9%であった。



サービス業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R3/6	-16.3	-7.7	-6.9
R3/9	-13.4	0.9	2.6
R3/12予想	-12.2	3.5	4.3

< サービス業 >

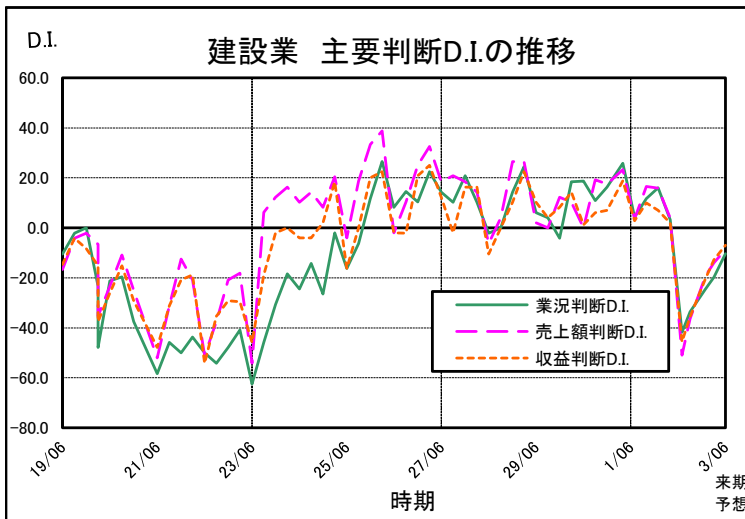
- ・当期業況判断D.I.は▲13.4(前期比+2.9)、当期売上額判断D.I.は0.9(同+8.6)、当期収益判断D.I.は2.6(同+9.5)となった。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は▲12.2(当期比+1.2)、売上額判断D.I.は3.5(同+2.6)、収益判断D.I.は4.3(同+1.7)といずれも当期より改善する見通し。
- ・当面の重点経営施策としては“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く44.5%、次いで“販路を広げる”を挙げる企業が40.3%、そして“宣伝・広告を強化する”が17.6%であった。



卸売業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R3/6	-12.7	-11.1	-6.3
R3/9	-11.3	4.8	6.5
R3/12予想	-6.6	-4.8	-3.2

<卸売業>

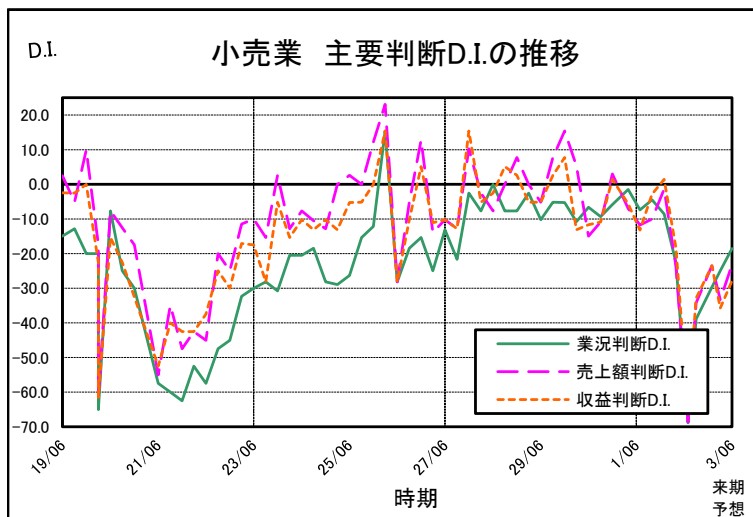
- ・当期業況判断D.I.は▲11.3(前期比+1.4)、当期売上額判断D.I.は4.8(同+15.9)、当期収益判断D.I.は6.5(同+12.8)となった。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は▲6.6(当期比+4.7)、売上額判断D.I.は▲4.8(同-9.6)、収益判断D.I.は▲3.2(同-9.7)となった。
- ・当面の重点経営施策としては“販路を拓げる”を挙げる企業が最も多く45.2%、次いで“経費を節減する”を挙げる企業が38.7%、そして“人材を確保する”が9.7%であった。



建設業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
R3/6	-10.4	-8.7	-6.9
R3/9	-6.4	-1.7	-3.5
R3/12予想	-5.3	1.2	-0.6

<建設業>

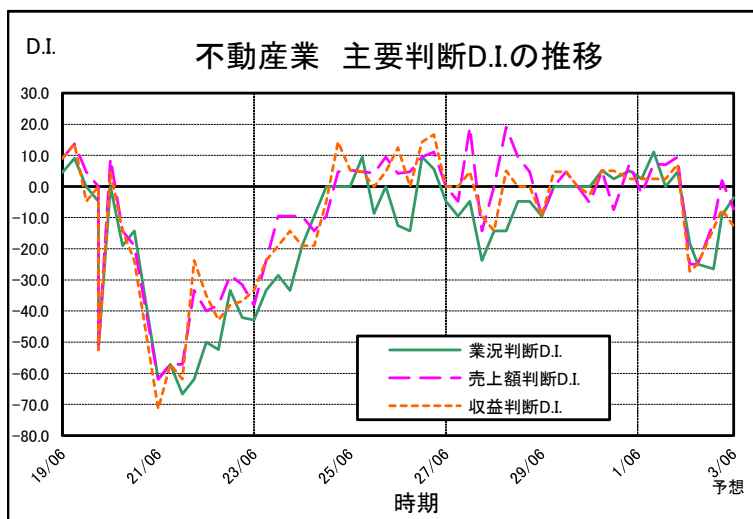
- ・当期業況判断D.I.は▲6.4(前期比+4.0)、当期売上額判断D.I.は▲1.7(同+7.0)、当期収益判断D.I.は▲3.5(同+3.4)となった。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は▲5.3(当期比+1.1)、売上額判断D.I.は1.2(同+2.9)、収益判断D.I.は▲0.6(同+2.9)といずれも当期より改善する見通し。
- ・当面の重点経営施策として“販路を拓げる”を挙げる企業が最も多く41.1%、次いで“経費を節減する”を挙げる企業が34.1%、そして“人材を確保する”を挙げる企業が18.4%であった。



小売業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R3/6	-18.6	-23.3	-27.9
R3/9	-22.9	-16.9	-14.3
R3/12予想	-19.5	3.6	2.4

<小売業>

- ・当期業況判断D.I.は▲22.9(前期比-4.3)、当期売上額判断D.I.は▲16.9(同+6.4)、当期収益判断D.I.は▲14.3(同+13.6)となった。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は▲19.5(当期比+3.4)、売上額判断D.I.は3.6(同+20.5)、収益判断D.I.は2.4(同+16.7)といずれも当期より改善する見通し。
- ・当面の重点経営施策としては“経費を節減する”を挙げる企業が最も多く50.6%、次いで“宣伝・広告を強化する”を挙げる企業が41.2%、そして“品揃えを改善する”が23.5%であった。

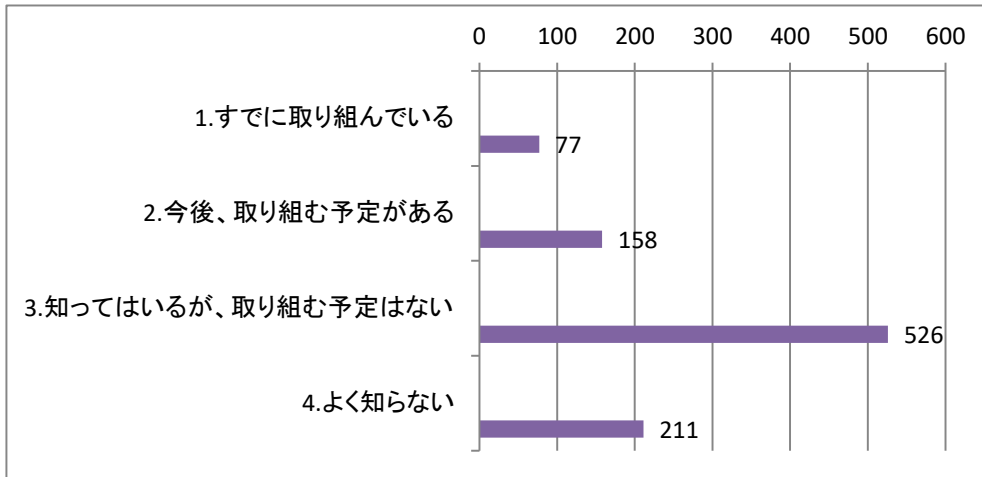


不動産業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
R3/6	-3.6	-7.3	-12.7
R3/9	1.9	-1.9	-5.8
R3/12予想	3.9	3.9	0.0

<不動産業>

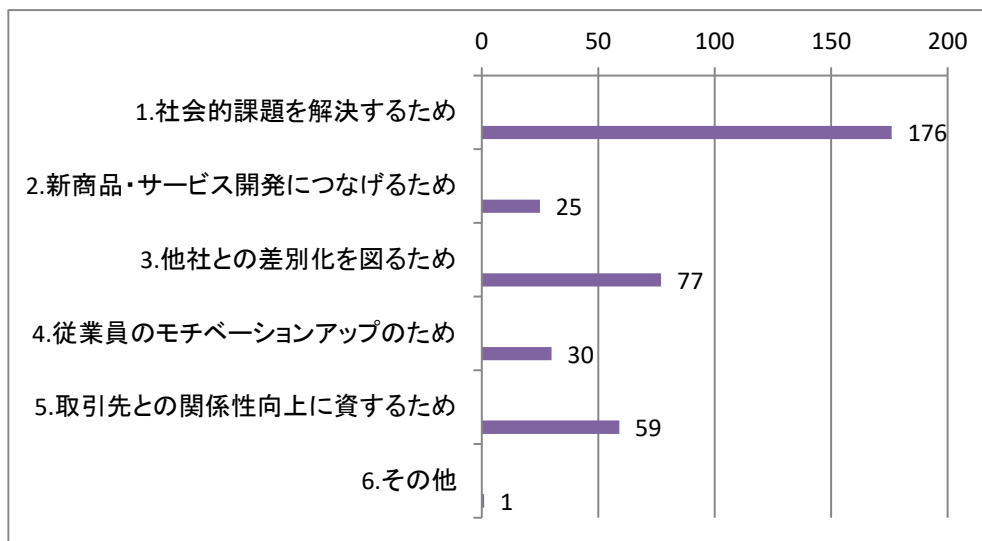
- ・当期業況判断D.I.は1.9(前期比+5.5)、当期売上額判断D.I.は▲1.9(同+5.4)、当期収益判断D.I.は▲5.8(同+6.9)となった。
- ・来期予想は、業況判断D.I.は3.9(当期比+2.0)、売上額判断D.I.は3.9(同+5.8)、収益判断D.I.は0(同+5.8)といずれも当期より改善する見通し。
- ・当面の重点経営施策としては“販路を広げる”を挙げる企業が最も多く29.6%、次いで“経費を節減する”および“宣伝・広告を強化する”を挙げる企業が25.9%であった。

問1. 「SDGs」について、貴社の取組状況・認知度をお教えてください。



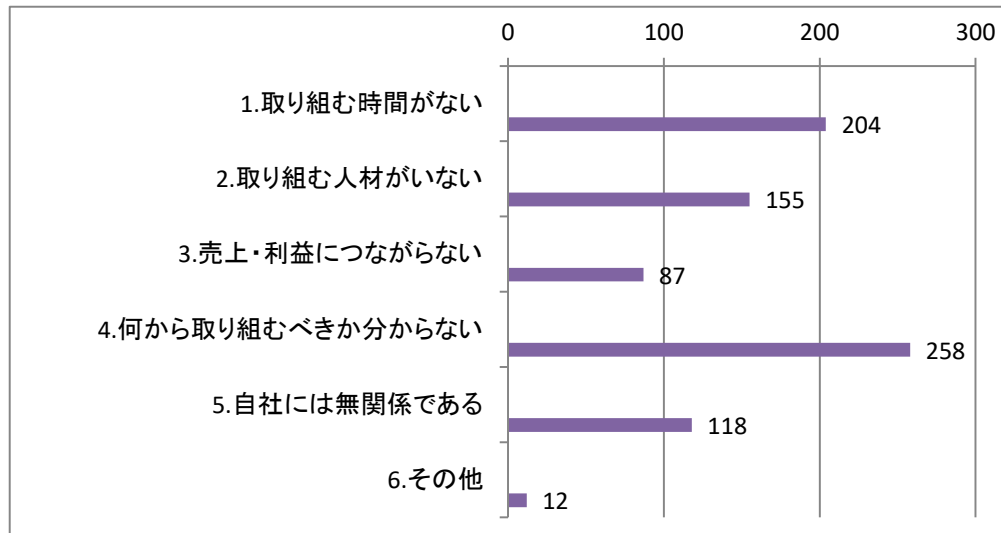
☛「知ってはいるが、取り組む予定はない」が最も多く、次いで「よく知らない」、「今後、取り組む予定がある」と続いた。

問2. 問1で「取り組んでいる」「予定がある」（1か2を選択）と回答された方にお伺いします。貴社が「SDGs」に取り組む意義をお教えてください。（複数回答可）



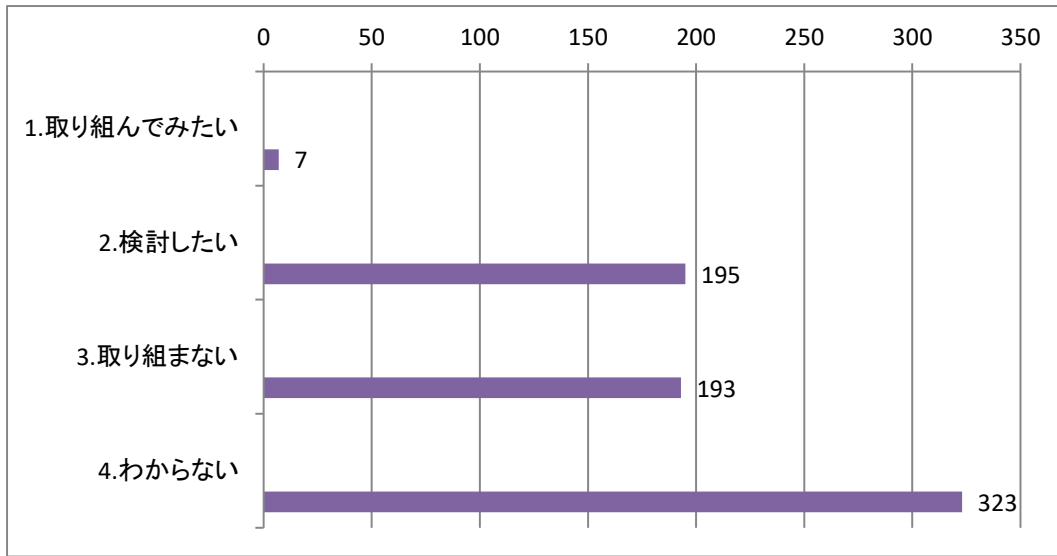
☛SDGsに取り組む意義については、「社会的課題を解決するため」が176回答と最も多かった。

問3. 問1で「取り組む予定はない」「よく知らない」（3か4を選択）と回答された方にお伺いします。「SDGs」に取り組まれない理由や障壁をお教えてください。（複数回答可）



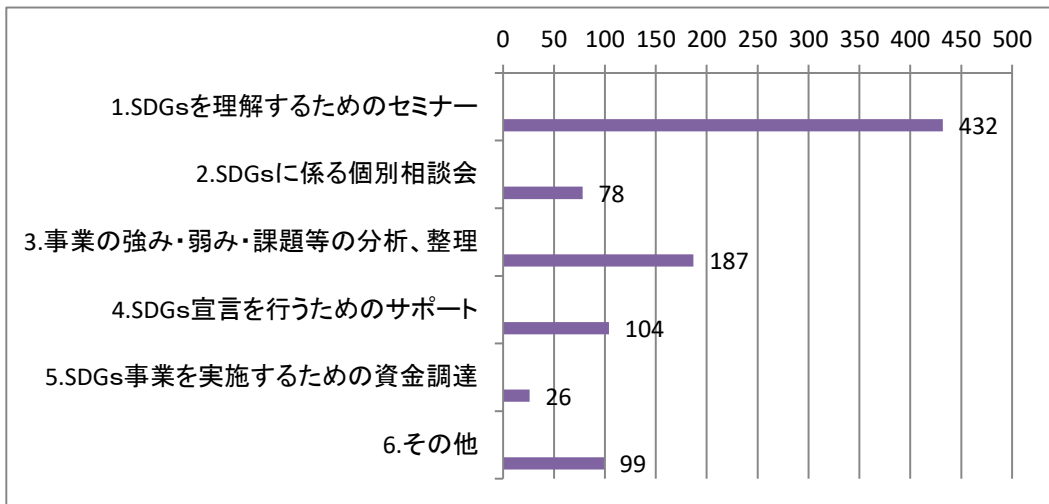
☛取り組まれない理由や障壁は、「自社には無関係である」が118回答の一方、「何から取り組むべきか分からない」「取り組む時間がない」「取り組む人材がない」が多くを占めた。

問4. 問1で「取り組む予定はない」「よく知らない」（3か4を選択）と回答された方にお伺いします。サポートがあれば、「SDGs」に取り組みたいと思いますか。



☛「検討したい」または「取り組まない」と回答された方が同数程度であった一方、「わからない」が多くを占めた。

問5. 「SDGs」に取り組むにあたり、金融機関に期待することはございますか。（複数回答可）



☛「SDGsを理解するためのセミナー」が432回答と最も多かった。次いで、SDGsに取り組むための「事業の強み・弱み・課題等の分析、整理」を期待される回答が多かった。